

卒業生が語る“私のミッション”

3年前の春—ミッションを選んだ先輩たち。彼らはどのような高校生活を過ごし、いかにして夢を叶えるための一歩を踏み出したのか。ミッション卒業生の生の声をお届けするインタビューシリーズ。

第4回

「私も何かに挑戦してみたい！」

「ミッションの教育方針と言え、勉強プラスもうひとつ」なんです。私の場合、高校入学当初は、打ち込める「もうひとつ」がすぐには見つかりませんでした。でも、クラスメイトや先輩たちが部活動や行事、習い事に熱中する姿を目の当たりにして、熱気に押されたというか（笑）、私の中にも「何かに挑戦してみたい！」という気持ちが芽生えてきたんです。中でも、学校行事を取



高校の文化祭で(前列右から2番目)

ない行動でしたが、ミッションで過ごす毎日の中で、ごく自然にこういう積極性が身に付いていったように思います。

忘れられない

「私一人のための授業」

高校では理系コースを選択しましたが、最初から理数系が得意だったわけではありません。とにかくミッションの授業が私にはとても分かりやすく、徐々ですが、それがテストの結果に表れてきたんです。結果が出たことで、授業がもっと楽しく、好きになり、その積み重ねの中で、いつしか得意科目目になっていた—という感じでしょうか。

大学受験に関して言えば、入学当初からミッションが推薦に強いことを知っていたので、1年生のときから定期テストの点数を落とさないように努力しました。

「国立大学の工学部」という目標を立て、志望校を絞ったのは3年生の夏休みが終わるころです。選抜方法が基礎学力に関する口頭試問を含む面接だったため、化学の先生に相談に行ったところ、アドバイスのだけでなく、放課後、私だけのために受験対策の

補習をしてくださいました。担任の先生にも何度も面接の練習をしていただき、先生方の温かさには、今でも感謝の気持ちでいっぱいです。他校の友だちにこんな話をするとよく言われました、「ミッションはいいなあ」って（笑）。試験当日はすごく緊張しましたが、「応援してください」って先生方のためにもがんばりたい」という気持ちで、普段どおりの力を発揮できたと思います。

大好きな化学の道を、
一歩ずつ究めていきたい

念願の国立大学工学部への合格を果たすことができ、今は化学の基礎を学んでいます。研究や実験が好きなので、研究室に配属されるのが今から楽しみです。できれば大学院にも進んで、卒業後は薬品系かエネルギー関連企業で研究職に就きたいと思っています。

大学では、自分なりの考えを自身の言葉で語ることが求められますが、これからもミッションで身に付けた積極性やチャレンジ精神を生かし、自分を信じて、大好きな化学の道を、歩ずつ究めていきたいと思っています。

生徒会に立候補するなんて、
中学時代の私には
想像もできませんでした。

新潟大学 工学部 化学システム工学科

小林加南子さん

こぼやしかなこ

北陸学院高校礼拝堂前にて

平成23年4月高校入学者より 「進学サポート奨学金制度」 を新設します。

学びを経済的に
サポートします

1年間の 授業料が無料!!

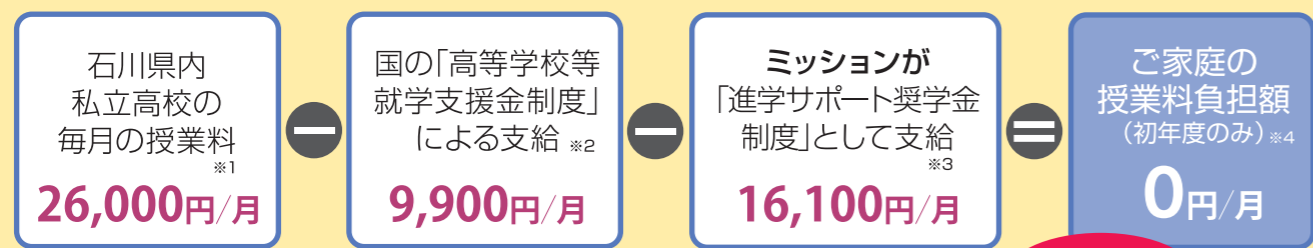
要件を満たす推薦入試での入学者は、
授業料が初年度1年間無料となります。

制度の特長

「進学サポート奨学金制度」は あなたの学びを支えます

今年度始まった国費による公立高校の授業料無償化と同時に、私立高校においても公立の負担軽減額と同額を支給する「高等学校等就学支援金制度」が始まりました。ミッションでは、ご家庭の負担をさらに軽減するこ

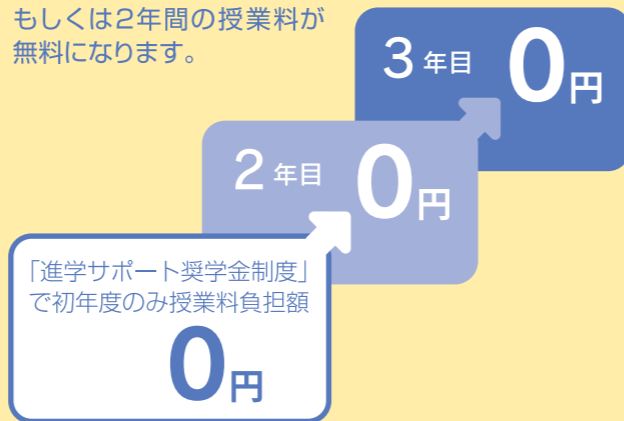
とで、より充実した高校生活を送っていただけるよう、本校独自の「進学サポート奨学金制度」を新設します。これは、要件を満たす推薦入試(専願・併願とも)による入学者の授業料を、初年度の1年間無料とする制度です。



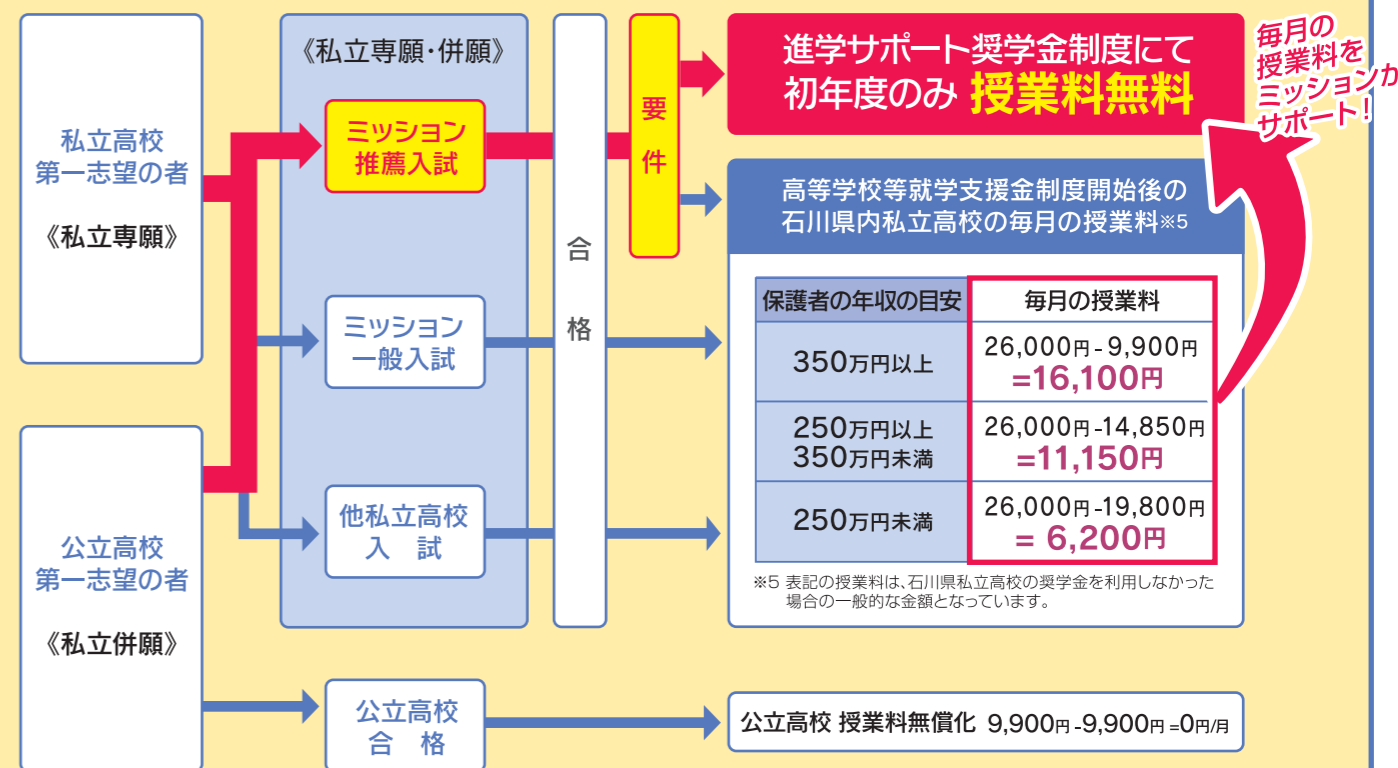
さらに

- ※1 入学金や教科書代・修学旅行費などは含まれません。
- ※2 保護者の年収により月支給額が異なります。
- ※3 毎月の授業料から「高等学校等就学支援金制度」の支給額を差し引いた金額です。
- ※4 入学金や教科書代・修学旅行費など、授業料以外の費用は対象となりません。

奨学生の中から成績優秀者かつ優れた人物3名は、コースにかかわらず、継続または復活により、1年間もしくは2年間の授業料が無料になります。



◎その他、詳しくは中学校の先生にご確認ください。



[要件]

成績基準	収入基準
専願推薦：9教科評定合計「31点」以上(中学3年次) 併願推薦：9教科評定合計「33点」以上(中学3年次)	●給与所得者：世帯収入800万円以下 ●個人自営業者：世帯所得600万円以下 ※ともに平成21年分の親権者全員の合計額

高等学校等就学支援金制度について

平成22年4月より「高等学校等就学支援金制度」が始まりました。この制度では、公立高校の負担軽減額と同額が国立高校・私立高校にも支給されます。

※保護者の所得に関係なく、すべての高校生に支給される金額は9,900円です。また所得に応じて一定額が加算される場合があります。詳しくは文部科学省のホームページをご覧ください。
※入学金や教科書代・修学旅行費など授業料以外の学費は対象とはなりません。

2011年度 学校・入試説明会のお知らせ

北陸学院高等学校 [3年制]

- 11月20日(土) 学校・入試説明会①
- 11月27日(土) 学校・入試説明会②
- 12月4日(土) 学校・入試説明会③

※詳しくは、本校にお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

月刊北國アクタス2010年11月号掲載記事